

# 第4回湘南テコンドー選手権大会 要項

## 【1】名称

### 第4回湘南テコンドー選手権大会

— 第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 出場選手選考会 —  
(開催日 2018年11月24日 土曜日 午後5時00分開始  
会場 後樂園ホール・東京ドームシティー内)

## 【2】主催・幹事

主催 湘南テコンドー協会  
主管 神奈川県テコンドー連盟  
幹事 横浜市立大学体育会テコンドー部

## 【3】後援

日本テコンドー協会

## 【4】目的

- 1) ルールを尊ぶJTAテコンドーの試合を通じて健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) JTAテコンドー愛好家の親睦を目的とする。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会出場選手選考
  - ① 一部組手および一部蹴武の型優勝者には蹴美力が認められる場合、全日本大会出場権を与える。  
ただし、<イ>各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、  
審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない。  
<ロ>関東圏選手は、重要な組手総見(10月・11月実施)への参加を義務付ける。  
不参加の場合、例外なく、出場権を取り消す。
  - ② 少年少女部の有段者優勝者には、全日本大会出場権を与える。
  - ③ 上記の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場者は、  
有段者または10月末迄に昇段審査を受験し合格している者に限る。

## 【5】開催日時

2018(平成30)年9月23日(日)

当日日程 10時00分 開場・設営  
10時30分 第125回秋季審査会・神奈川金沢八景会場  
11時00分 選手(審査非受験者)集合・受付・計量  
12時00分 開会式開始 \*早める可能性あり  
16時15分 閉会式・表彰式  
17時00分 退去

## 【6】開催場所

横浜市立大学(金沢キャンパス)体育館・剣道場

神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2(体育館地下1階)

京浜急行「金沢八景駅」徒歩5分。

駐車場はありません(許可車・実行委員のみ。選手及び保護者は駐車できません)

## 【 7 】 参加資格

- 1) JTA有級者 (黄帯・7級以上)、有段者。
- 2) 健康 (持病を隠していた場合、重大な事故につながり、かつ保険もおりない) であり、かつスポーツ安全保険 (同上) に加入している者。
- 3) 一部組手は、茶帯～有段者。ただし、男女いずれも満40歳までとする。  
全日本大会開催日時時点で満40歳とし、男女ともに例外は一切認めない。  
一般および大学生は、JTA黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。  
後日発覚した場合、当該選手の成績は無効とし、表彰状・メダル等を返却させる。
- 4) 一部蹴武型A級は有段者に限る。一部蹴武型B級は1級～有段者。年齢制限なし。  
一般および大学生はJTA黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
- 5) 二部組手は、イ) JTAの1級・茶帯～有段者  
ロ) 過去、1年以内のJTA公式戦で入賞経験を有する4級の有級者。
- 6) 二部蹴武型は、有級者。制限なし。少年少女部選手も出場できる。
- 7) 三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。中学生の有段者は挑戦できる。
- 8) 三部蹴武型は、優勝経験のない有級者に限る。
- 9) 少年少女部組手および型試合は、黄帯～茶帯。黒帯は一部少年部へ出場すること。  
少年少女部は、事故及び怪我防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、JTA公認胴防具、ファールカップ (男子のみ) を着用しなければならない。

## 【 8 】 試合種目・表彰

### 一 組手

注意 全種目・全階級いずれも、ワンマッチで成立しない場合、統合する。

#### 1 一部フルコンタクト・テコンドー組手試合

優勝者は蹴美に秀でている場合に限り第29回全日本FT大会出場権を与える

- ①男子一部軽量級組手(63kg未満) ～ 優勝：メダル、賞状、準優勝～三位：メダルと賞状
- ②男子一部中量級組手(73kg未満級) ～ 同上
- ③男子一部重量級組手(73kg以上) ～ 同上
- ④女子一部無差別級組手 ～ 同上
- ⑤中学生一部軽量級(ライトコンタクト) ～ 同上
- ⑥中学生一部無差別級(同上) ～ 同上
- ⑦小学生一部無差別級(同上) ～ 同上

#### 2 JTAライトコンタクトテコンドー組手

- ①二部軽量級(63kg未満) ～ 優勝、準優勝、3位(1名)：メダルと賞状
- ②二部中量級(73kg未満級) ～ 同上
- ③二部重量級(73kg以上) ～ 同上
- ④二部女子無差別級 ～ 同上
- ⑤二部壮年(40歳以上有級者)無差別級 ～ 同上

### 3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- ① 軽量級 (63 kg 未満) ~ 優勝、準優勝、3 位 (1 名) : メダルと賞状
- ② 中量級 (73 kg 未満級) ~ 同上
- ③ 重量級 (73 kg 以上) ~ 同上
- ④ 女子無差別級 (胴防具着用) ~ 同上

### 4 四部 J T A 少年部特別ルール組手

- ① 少年部丙 (小学校 1 ~ 2 年生) ~ 優勝 ~ 3 位 : メダルと賞状
- ② 少女部丙 (小学校 1 ~ 2 年生) ~ 同上
- ③ 少年部乙 (小学校 3 ~ 4 年生) ~ 同上
- ④ 少女部乙 (小学校 3 ~ 4 年生) ~ 同上
- ⑤ 少年部甲 (小学校 5 ~ 6 年生) ~ 同上
- ⑥ 少女部甲 (小学校 5 ~ 6 年生) ~ 同上
- ⑦ 中学生男子軽量級 (50 kg 未満) ~ 同上
- ⑧ 中学生男子中量級 (50 kg 以上) ~ 同上

注意 1 少年少女部は、事故防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、J T A 公認胴防具、ファールカップ (男子のみ) を着用しなければならない。

注意 2 エントリー人数に応じて統合する場合があります、保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい

- ① 少年部・少女部組手の 1 回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、遠心力がかかり最も危険な上段回し蹴りを禁止しているため、選手双方が定まれたルールを守っていれば事故が起こらないと考えます。
- ② 義務教育課程の子供は成長段階に差異があり、年齢が同じであっても身長・体重に差異があります。また、身体の成長が著しい子供は、1 学年上の子供より大きい場合も珍しくありません。つまり子供の場合、学年や年齢で格闘技の試合の階級を区切るのは、身体的に難しいといえます。しかし、手技のボクシングのように体重のみで区切るのも問題があります。なぜなら、テコンドーは蹴りの勝負であるため、身長差 = 足の長さが勝敗を左右するからです。そのため学年という大まかな基準で募集し、申請書記入の体重と身長、戦歴による実力を考慮し、対戦表を作成します。たとえば (過去の事例)、少女部丙にエントリーした小 2 女子 (体重 23 kg) が 1 名、少女部乙にエントリーした小 3 女子 (体重 25 kg) が 1 名の場合、「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行いました。あるいは、身長が低く体重が軽くとも、過去の試合において入賞している場合、大きな相手であっても、実力があるので、充分、戦えると判断した場合は対戦させることがあります。

注意 3 男・女中学生は一般の部に参加できます。ただし、自己責任とします。保護者の許可が必要です。

## 二、蹴武型試合（全種目男女混合）

- 1、一部蹴武の型A級 ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- 2、一部蹴武の型B級 ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- 3、一部少年少女部（小学生・中学生有段者） 蹴武の型 ～ 同上
- 4、二部蹴武の型試合（有級者。制限無し） ～ 同上
- 5、三部蹴武の型試合（有級者。優勝経験のない者に限る） ～ 同上
- 6、少年少女部蹴武の型試合（有級者）
  - ① 小学生低学年（3年生以下。未就学者可） ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
  - ② 小学生高学年（4年生～6年生） ～ 同上
  - ③ 中学生有級者 ～ 同上

注意1 組手および型試合はいずれもエントリー選手が  
① 6名以下の場合、最も近い級と統合する場合がある。  
③ 7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない場合がある。

注意2 少年少女部の有段者は、すべての一般の部に挑戦できる。

注意3 型の試合は、年齢差、体力差、性差は、練習量で充分補えます。

### 【9】 試合ルール等

注意1 計量は1回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない。  
自己流の減量は極めて危険である。無理な減量は禁止。死亡事故がおこる。

注意2 すべての種目は、一定数のエントリーに達しない場合、統合する。  
参加者（未成年者の場合は保護者）は、上記を予め同意しなければ試合にエントリーすることはできない。  
中学生型と小学生高学年型、または小学生高学年型と小学生低学年型を統合する場合もある。

## 一、組手試合ルール

### 日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

- ①一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）
- ②二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール
- ③JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく少年少女部特別ルール

## 2、試合時間、判定基準等

### 1) 試合時間

① 一部・二部・三部 本戦 2分 1R

延長戦 2分 (1R迄)。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

② 中学生 本戦 1分 30秒 1R。

延長戦 1分 (1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

③ 少年少女部 本戦 1分 1R。

延長戦 1分 (1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点 2、又は注意 6 で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点 1 とする。

### 2、その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。  
ただし、予選会における蹴美審判は 1 名とする。

## 二、蹴武の型・試合ルール

### 日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

① 一部 A 級 J T A A 級蹴武型ルール

② 一部 B 級および一部少年少女部 J T A B 級蹴武型ルール

③ その他 J T A C 級蹴武型ルール

### 【10】大会出場締め切りと申込手続き

締切り 2018 (平成30) 年 9 月 13 日 (当日消印有効)、

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手&蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え (コピー可) を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1 回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

### 1、参加費振込先

〔口座番号〕 00280-2-40267

〔名義〕 神奈川県テコンドー連盟

## 2、申込書送付先

〒254-0054

神奈川県平塚市中里47-39（2階）

学研CAIスクール平塚西校内

湘南テコンドー大会事務局長 佐藤賢治殿

### 【11】大会役員

大会会長 河 明生（県連会長） 実行委員長（司会兼任） 佐藤賢治  
審判 仮屋山敏志、吉川 真、趙 哲来、他 賞状・趙智愛 医務救護・西谷信一郎

### 【12】注意事項

- ・試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ・電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ・所属クラブ長に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ・理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ・試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
- ・選手は、各種保険証の現物を持参して下さい。  
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい。
- ・体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。  
各クラブは「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また武道館内は禁煙です。
- ・ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。  
体育館・武道館および大会主催者は一切責任を負いません。
- ・契約している保険会社に問い合わせたところ

組手試合中の打撃の伴わない死亡事故・後遺障害・怪我等は保険が適用されません。

例1) 熱中症

例2) 要項には「健康であること」が参加絶対条件であるが、本人が持病を隠して参加し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合

例3) 極度の緊張で打撃を伴わず転倒し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合

命ほど大切なものではありません。組手試合参加絶対条件である健康か否かは日常の練習中、判明しているはずなので当該責任者は参加させないように指導して下さい。

例4) 試合の打撃等によらない心臓・肺等の異常。たとえば、過呼吸症候群、心不全。

### 【13】観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。ただし、大会関係者の指示に従ってください。  
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。  
体育館・武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

### 【14】J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う 体育館・武道館の使用禁止の場合の処置

自然災害で体育館・武道館の中止勧告が出た場合、参加費は返金できないという内容。  
詳細はJ T A本部HPを参照して下さい。

第4回湘南テコンドー選手権大会参加申込書  
大会会長 河 明生 殿

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
- 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。  
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓います。
- 五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。
- 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。  
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険と契約）  
死亡 1千万、後遺障害（失明など）1千万、入院1日6千円、通院1日4千円
- 七、J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う体育館・武道館の使用禁止の場合の処置も同意します。
- 八、私は組手試合参加絶対条件の健康な体であることに虚偽はありません。万一、打撃の伴わない死亡事故・重度後遺障害・大怪我等により保険金が支払われなかったとしても大会主催者に対し民事上の異議を申し立てません。上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。  
上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所  
(ふりがな)  
氏名

印

保護者 住所

氏名

印 \*18歳未満、高校生以下必要

\*記入漏れがある場合、失格となります。

所属クラブ名

参加費振込証明添付

指導者サイン

現級・段

年齢

歳

身長

C m

体重

K g

\*のり付けして下さい

過去(1年以内)の大会成績

1

2

出場種目(組手&型の2種目出場者は、1枚の申請書で2ヶ所に○をしてください)

一部組手→①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子 ⑤中学生軽量級 ⑥中学生無差別級 ⑦小学生

二・三部組手→①二部軽量級 ②二部中量級 ③二部重量級 ④二部女子 ⑤二部壮年

⑥三部軽量級 ⑦三部中量級 ⑧三部重量級 ⑨三部女子

少年少女組手→①少年1~2年 ②少女1~2年 ③少年3~4年 ④少女3~4年 ⑤少年5~6年

⑥少女5~6年 ⑦中学生男子軽量級 ⑧中学生男子無差別級

蹴武型→ ①一部A級 ②一部B級 ③一部少年少女有段者

④中学生有級者 ⑤小学生高学年 ⑥小学生低学年・未就学者